



継承と創造

額田中学校

校長室だより



11月12日(金)
第22号

額中の
新たな伝統

C (challenge)
チャレンジ : 挑戦

R (respect)
リスペクト : 尊敬

S (smile)
スマイル : 笑顔

おかぎキッズ サイエンスセミナー 10月9日(火)

岡崎市では、市内にある最先端の研究機関である自然科学研究機構と連携協定を結び、子供たちの科学に対する興味・関心を高めています。本年度は「おかぎキッズ サイエンスセミナー(オンラインVer.)」として、基礎生物学研究所の 氏を講師とし、「切っても切ってもプラナリア」という出前講座をやっていただきました。本校は火曜の三・四限を使い、全校生徒がオンライン参加しました。教室のテレビで講師から講義を聞くとともに、個人のタブレットからアクセスし、切ったプラナリアが再生する過程を疑似体験したり、アンケート形式で考えを反映したりしました。

この日は、岡崎市教育委員会教育監の先生が本校の生徒がセミナーに参加する様子を見に来られました。全学級の参観を終えられたあと、「反応がたいへんよい、素晴らしい生徒さんですね」とお褒めの言葉をいただきました。

岡崎市では現在、タブレット端末の通信環境の改善に向けた整備をしています。これが実現すると、これまで以上に活用の幅が広がるため、たいへん楽しみにしています。





学校では年に一度、教育委員会の指導主事の先生に來ていただき、授業や学校の教育活動の指導助言を受ける機会があります。この日は二名の主事が來校し、二時間にわたり、全学級の授業を見ていただきました。本校の特色である小集団の学習「CRS」

指導主事訪問

十月八日(月)

を通じた授業について、いただいたお話からその意義を再確認することができました。生徒のより主体的な学習を生み出すためには、まだまだ教師の研修が必要であることを実感しました。同時に、自分たちで学ぼうとする生徒の皆さんの姿勢に、あらためて感動しました。

WEB 上では個人名の掲載をひかえています

「待ちわびた」いや、「やっと思ける」修学旅行



▲体育館で持ち物の確認と事前指導

新型コロナウイルスの終息により、待ちに待った修学旅行を迎えようとしています。思い起こせば、6月から9月、9月から11月と、二度の延期を行い、この11月がラストチャンスという思いで準備を進めてきました。3年生の生徒の皆さんは、「やっと思ける」というのが正直な心情ではないかと思ひます。目的地の北陸地方も本県と同様、落ち着いた状況にありますが、感染対策はこれまで同様にしっかき行ひ、充実した旅行にしたいと思ひます。

いよいよ14日(日)の朝に出発します。保護者の皆様には送迎等でお手数をおかけしますが、御協力を願ひいたします。

<1・2年生も校外の学習を実施します>

3年生が修学旅行に行っている間、1・2年生も総合的な学習の時間で学んでいることに関連した校外学習を行います。

1年生は東山動植物園で実施されている、「環境プログラム」を受講します。生物多様性や持続可能な環境の実現の取組について学習してきます。

2年生は、キャリア教育の一環として、ラグーナテンボスで職場体験学習を行います。その事前学習として、担当の 様にお越しいただき、お話をさせていただきました。

1年生は16日(火)に、2年生は15日(月)にそれぞれ出かけます。生徒の皆さんはこういった機会を大切に、しっかき学習してきましょう。



▲事前学習の様子(上:1年 下:2年)



▲公立高校説明会

11月4日(木)

10月の私立・専修学校説明会に続き、公立高校の先生に学校の説明をしていただきました。



▲敬信寮参観

11月11日(木)

来年度入学する小学校6年生を対象とした説明会を行いました。市の教育政策課の方にもお越しいただき、お話を聞きました。



▲突然の来校者(おさるさん)

3年生が修学旅行の事前指導を受けている間、いつの間にかやってきました。校舎内に入られぬよう、大慌てで窓を閉めました。何処へ去っていきました。